

平成30年度

事務事業の点検評価結果報告書

令和元年8月

山県市教育委員会

目 次

第 1 章 点検評価結果の概要

1	趣旨説明	1
2	点検評価の実施について	2
	＜ 評価について ＞	
3	点検評価結果について	
	(1) 点検評価結果全体の概要	3
	(2) 分野ごとの点検評価結果	4
	(3) 事業ごとの評価一覧表	5

第 2 章 各事務事業の点検評価シート

	教育委員会の活動状況	8
	重点目標 1 (主要施策 1～ 4)	9
	重点目標 2 (主要施策 5～ 8)	20
	重点目標 3 (主要施策 9～ 11)	27
	重点目標 4 (主要施策 12～ 15)	35
	重点目標 5 (主要施策 16～ 19)	45
	重点目標 6 (主要施策 20～ 21)	51

第 3 章 外部有識者からの意見

(1)	外部有識者からの意見	53
-----	------------	----

(参考資料)

・	山県市教育委員会点検評価実施要綱	54
・	山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱	56
・	山県市教育委員会点検評価委員	58

第1章 点検評価結果の概要

1 趣旨説明

山県市教育委員会では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告を行うものです。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定されている教育委員会の職務権限は下記のとおりです。

【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号) 抜粋」

(教育委員会の職務権限)

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関(以下「学校その他の教育機関」という。)の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産(以下「教育財産」という。)の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する

事務に関すること。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の実施について

教育委員会は、「山県市教育委員会点検評価実施要綱」に基づき、平成30年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

(1) 教育委員会の活動状況等

教育委員会会議の実施状況、調査活動の実施等について

(2) 事務の管理及び執行の状況

「山県市の教育基本方針」に示す施策の執行状況及びその成果について

<目標について>

目標について、「・」は「維持向上型事業」に関する目標、「◎」については「積上型事業」に関する目標としました。

※「維持向上型事業」とは、5年間を通し、同じ目標として向上を目指す事業。

※「積上型事業」とは、計画的に毎年度目標を設定し、重点目標の達成を目指す事業。

<評価について>

上記項目について、次の4区分により、その達成度の評価を行いました。

評 定	内 容
A	順調に達成しているもの
B	おおむね順調に達成しているもの
C	達成見込みであるが課題があるもの
D	順調でないもの

なお、地教行法第26条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱」に基づき、評価委員会を設置し、評定結果に対する意見の聴取を行いました。

3 点検評価結果について

(1) 点検評価結果全体の概要

◇教育委員会の活動状況	
①教育委員会会議の状況	順調に達成している (A)
②調査活動の状況	順調に達成している (A)
◇事務事業の執行状況 (全51項目について評価)	
A 順調に達成しているもの	43 / 51項目 (84%)
B おおむね順調に達成しているもの	5 / 51項目 (10%)
C 達成見込みであるが課題があるもの	0 / 51項目 (0%)
D 順調でないもの	0 / 51項目 (0%)
－ 実施を中止したもの	3 / 51項目 (6%)

(2) 分野ごとの点検評価結果

平成 30 年度の重点施策別の点検評価結果は、下記のようになりました。

重点目標 1 (全 13 項) 「学ぶ意味や喜びを 味わえる学習づくり」	A	順調に達成しているもの	13 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	0 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標 2 (全 9 項目) 「児童生徒のよさを 生み出す環境づくり」	A	順調に達成しているもの	8 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	0 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
	—	実施を中止したもの	1 項目
重点目標 3 (全 8 項目) 「信頼に満ちた 安心・安全な学校づくり」	A	順調に達成しているもの	8 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	0 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標 4 (全 12 項) 「「学び」と「活用」の サイクルの確立」	A	順調に達成しているもの	11 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	1 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
重点目標 5 (全 7 項) 「ゆとりとうるおいを 実感できる文化芸術活 動」	A	順調に達成しているもの	2 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	3 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目
	—	実施を中止したもの	2 項目
重点目標 6 (全 2 項) 「人間尊重の精神に あふれた人づくりの推 進」	A	順調に達成しているもの	1 項目
	B	おおむね順調に達成しているもの	1 項目
	C	達成見込みであるが課題があるもの	0 項目
	D	順調でないもの	0 項目

(3) 事業ごとの評価一覧表

「山県市教育振興計画」に示された「重点施策」「主要施策」「主要事業」に伴い、平成30年度の「実施事業」の評価を行いました。「実施事業」の評価は、以下のとおりです。

重点目標 1】学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	
主要施策 1 学習指導方法の工夫改善の推進	評価
(1) 『分かる授業・心にひびく教育』推進事業	A
(2) 個別指導及び問題解決学習等授業改善事業	A
(3) 学校管理訪問事業	A
(4) 教職員の各種人事交流による学校活性化事業	A
主要施策 2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実	評価
(1) 学校提案型教育活動推進事業	A
(2) ふるさと大好き、わくわく体験事業	A
(3) 地域とともにある学校の推進事業	A
(4) 学校コラボレーター事業	A
主要施策 3 学校間連携事業の充実	評価
(1) 体力づくり・スポーツ振興事業	A
(2) 芸術・文化教育推進事業	A
主要施策 4 教育センター機能の充実と改革	評価
(1) 力のある教師や支援員等を育てる教職員研修推進事業	A
(2) 教育センター機能充実事業	A
(3) 教育相談機能の充実事業（適応指導教室コスモス）	A

【重点目標 2】児童生徒のよさを生み出す環境づくり	
主要施策 5 学校整備の推進	評価
(1) 非・構造部材の耐震対策事業	A
(2) 学校木質化推進事業	-
(3) 学校施設防災機能強化事業	A
主要施策 6 学校適正規模化の推進	評価
(1) 方針に基づいた統合推進事業	A
主要施策 7 快適な学習環境整備の推進	評価
(1) 冷暖房設備事業	A
(2) トイレ美化推進事業	A
(3) バリアフリー化推進事業	A
主要施策 8 読書活動の充実と情報教育の推進	評価
(1) 「学習・情報センター機能をもつ図書館経営」推進事業	A
(2) 学習用 I C T 整備・活用事業	A

【重点目標 3】信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	
主要施策 9 学校保健の充実と食育の推進	評価
(1) 学校保健「心と体の健康」(歯と口腔の健康づくり) 推進事業	A
(2) 地産地消と食育推進事業	A
(3) 調理場整備推進事業	A
主要施策 10 学校サポート体制の充実	評価
(1) 学校支援員等配置事業	A
(2) 教育・生活相談員配置事業	A
主要施策 11 緊急事態への態勢強化を推進	評価
(1) あんしんネットによる登下校等安全対策事業	A
(2) 生徒指導連携強化事業	A
(3) いじめ防止対策推進事業	A

【重点目標 4】「学び」と「活用」のサイクルの確立	
主要施策 12 乳幼児期からの家庭教育の推進	評価
(1) 家族ぐるみの子育て実践事業	A
(2) 放課後子ども総合プラン推進事業	A
主要施策 13 青少年健全育成の推進	評価
(1) 青少年健全育成事業	A
(2) 成人式開催事業	A
主要施策 14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進	評価
(1) 生涯学習関係団体育成・支援事業	A
(2) 公民館活性化事業	B
主要施策 15 生涯スポーツの推進	評価
(1) 健康スポーツ推進事業	A
(2) 全国大会等出場応援事業	A
(3) 体育施設管理・建設事業	A
(4) 体育施設指定管理事業	A
(5) スポーツ関係団体育成・支援事業	A
(6) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	A

【重点目標5】「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	
主要施策 16 文化芸術活動基盤の充実と活動の推進	評価
(1) 文化の里花咲きホール活用推進事業	A
(2) 古田紹欽記念館活用推進事業	A
主要施策 17 市民の読書活動の推進	評価
(1) 図書館運営の拡充事業	B
(2) 読み聞かせ教室の開催事業	B
主要施策 18 文化財や伝統芸能等の継承推進	評価
(1) 文化財保存事業	B
主要施策 19 国際理解教育の推進	評価
(1) 青少年の海外派遣事業	-
(2) 国際交流員受入事業	-

【重点目標6】人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	
主要施策 20 学校における人権教育の推進	評価
(1) 学校における人権教育の推進	A
主要施策 21 あらゆる場、あらゆる機会での人権教育の推進	評価
(1) 社会人権教育推進事業	B

第2章 各事務事業の点検評価シート

様式第1号

教育委員会の活動状況

点検評価シート

山県市教育委員会

内容項目	実 績	成果 (○)・課題 (●)	評価																													
教育委員会会議の実施状況	<p>○開催回数</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>定例会議</td> <td>臨時会議</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>10回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>10回</td> <td>0回</td> </tr> </table> <p>○審議件数</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>議決</td> <td>承認</td> <td>報告</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>33件</td> <td>6件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>28件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </table>		定例会議	臨時会議	H29年度	10回	0回	H30年度	10回	0回		議決	承認	報告	H29年度	33件	6件	2件	H30年度	28件	0件	1件	<p>○議案の審議が厳正に行われたほか、委員からの情報提供や事務局からの報告に関し、活発な意見交換が行われた。</p> <p>●会議の毎月開催に努め、委員からの提案を促進するなど、会議の更なる活性化を図る必要がある。</p>	A								
	定例会議	臨時会議																														
H29年度	10回	0回																														
H30年度	10回	0回																														
	議決	承認	報告																													
H29年度	33件	6件	2件																													
H30年度	28件	0件	1件																													
調査活動の状況等	<p>○視察調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内視察 <table border="0"> <tr> <td>H29年度</td> <td>学校訪問</td> <td>2校</td> <td>(美山中、伊自良北小)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校施設視察</td> <td>1校</td> <td>(桜尾小学校)</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>学校訪問</td> <td>1校</td> <td>(大桑小学校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校施設視察</td> <td>0校</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市外視察 <p>岐阜県教育委員会連合会研修会参加</p> <table border="0"> <tr> <td>H29年度</td> <td>飛騨市</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>美濃市</td> </tr> </table> <p>○その他</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>協議会</td> <td>山県市総合教育会議</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>3回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> </table>	H29年度	学校訪問	2校	(美山中、伊自良北小)		学校施設視察	1校	(桜尾小学校)	H30年度	学校訪問	1校	(大桑小学校)		学校施設視察	0校		H29年度	飛騨市	H30年度	美濃市		協議会	山県市総合教育会議	H29年度	3回	1回	H30年度	2回	1回	<p>○特色ある教育実践を視察すると共に、学校長等との意見交換により学校の現状把握をすることができた。</p> <p>○県内教育委員会の優れた実践活動の発表をとおして、今後の教育行政の参考とすることができた。</p> <p>●各種団体との連携を密にして、積極的な意見交換を行い、教育委員会の更なる活性化を図る必要がある。</p>	A
H29年度	学校訪問	2校	(美山中、伊自良北小)																													
	学校施設視察	1校	(桜尾小学校)																													
H30年度	学校訪問	1校	(大桑小学校)																													
	学校施設視察	0校																														
H29年度	飛騨市																															
H30年度	美濃市																															
	協議会	山県市総合教育会議																														
H29年度	3回	1回																														
H30年度	2回	1回																														

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進</p> <p>○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。</p>	<p>(1)『分かる授業・心にひびく教育』推進事業</p> <p>・『山県市立学校3つの実践』(規律、学力、自己有用感)を全ての小・中学校で一貫した共通実践とします。</p> <p>・基礎学力の向上と自己表現力の育成を図ります。</p> <p>・推進校指定や研修校指定による実践的な授業研究会や生徒指導事例研究会を行うことで、「力のある教師」を育てます。</p> <p>・特別支援教育コーディネーターや教育相談員の適正な配置、教育支援委員会・就学相談会の充実を図り、保育園・幼稚園・特別支援学校との連携を深め、早期からの適切な就学指導を行います。</p>	学校教育課	<p>・新学習指導要領の趣旨及び山県市ならではの教育を意図した学校教育の指針の作成と活用(拡充)</p> <p>・学力向上推進会議年3回(経年比較±0)</p> <p>・学習プリント(WEB) H29 14,056回 H30 17,175回</p> <p>・公表会2校発表(経年比較±0)</p> <p>・30年度から全学校に指定校・推進校の位置付け(新規事業)</p> <p>・委員会等の開催 H28年度12回 H29年度14回 H30年度13回</p>	<p>○山県市ならではの教育の推進ができた。</p> <p>●新学習指導要領の理解と指導等の研修の必要がある。</p> <p>○実践・評価・改善をしながら実施できた。</p> <p>○その学校も特色ある学校経営が推進できた。</p> <p>○児童生徒・保護者のニーズに応じた教育支援ができた。</p> <p>●教育支援委員会の日時を早める必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進</p> <p>○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。</p>	<p>(2) 個別指導及び問題解決学習等授業改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度別学習等における下位10%の児童生徒に対する個別指導と見届けを徹底し、基礎学力の向上を図るための授業改善を行います。 ・自ら調べてまとめ発表する学習や仲間と共同して学習すること等、問題解決の力（思考力・判断力・表現力）や方法を身に付けるという目的を明確にした授業への改善を図ります。 ・小学校高学年における教科担任制や教科免許教員による個別支援等の配置された教職員の割当て内でより質の高い授業を目指します。 	学校 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・オール岐阜による学力向上支援プラン3年目（伊自良南小3回実施） ・少人数指導加配教員配置（経年比較±0） ・全国学力調査は小学校が微増、中学校は微減 ・学力向上推進会議2回（経年比較±0） ・一部の教科・学校において教科担任制（経年比較±0） 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の進め方や研究会の持ち方について改善を図ることができた ●学力と学習集団の関係が深いことから規律のある授業をさらに推進したい。 ○児童生徒の学力向上のため、放課後子ども教室を利用した学習活動（個別指導）を位置付けた。 ●小学校高学年や複式学級等において、教科担任制の授業を見すえた教育課程の編成を更に検討したい。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進</p> <p>○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。</p>	<p>(3) 学校管理訪問事業</p> <p>・『山県市立学校3つの実践』を小・中学校が一貫して重点化し、具体的な教職員や児童生徒の姿が見られるよう訪問の趣旨徹底を図ります。</p> <p>・全教職員の授業や活動を参観し、具体的に助言しながら、個々の教職員の授業力・生徒指導力等の資質向上に努めます。</p> <p>・児童生徒に確かな学力を育成するために、教職員がゆとりをもって児童生徒に関わる時間を確保できるよう、事務の効率化を進めます。</p> <p>・児童生徒の安全確保や教職員の勤務規律の徹底状況について指導助言を行います。</p>	学校教育課	<p>・各小中学校訪問 2回 (経年比較±0)</p> <p>・ICTを活用した校務のスリム化 (H29 との比較 負担感9%減 月時間外勤務 1時間20分減)</p> <p>・山県市立小中学校事務共同実施協議会 H29 4回 H30 6回</p>	<p>○各学校の教育目標や特色のある教育活動と「3つの実践」をつなぎ、個に応じた指導、定着の見届け、よさの価値付けなどを推進できた。</p> <p>●各学校の3つの教育実践の成果と課題を広く交流し、さらなる改善に生かしたい。</p> <p>○教職員は、児童生徒や教材研究に向き合う時間をこれまでよりも確保することができた。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策1 学習指導方法の工夫改善の推進</p> <p>○教職員の授業力を高め、児童生徒に確かな学力を育てます。</p>	<p>(4) 教職員の各種人事交流による学校活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力向上のために、市内研修校への計画的な人事派遣を推進します。 ・将来を担う中堅的立場の教職員を広域派遣すると共に、他市からも指導力ある教職員を受け入れて、教育活動の活性化を図ります。 ・市内の人事交流を盛んにし、学校の活性化と教職員のキャリアアップを図ります。 	学校 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・研修校への派遣 H29:2人 H30:1人 ・県教委派遣 H29:2人 H30:1人 ・広域交流受け入れ H29:1人 H30:3人 ・岐阜大学教職大学院特別支援教育コース夜間授業の受講者 新規1人 ・他県交流派遣受け入れ 鹿児島県より 1人(3年目) 	<p>○研修校や広域交流の受入など活性化を図る人事異動ができた。</p> <p>○初任者を3人受け入れ、ベテラン教員と若手教員のバランスを図ることができた。</p> <p>○岐阜大学教職大学院特別支援教育コース夜間授業の受講者への一部助成等、特別支援教育の指導者ニーズに対応できた。</p> <p>●児童生徒数の減少に伴い教職員の減少が進む中、山県市に本拠地を置く職員や広域人事交流を終えた職員が多いことから、新ルールに基づく一般異動や再任用教諭の位置付けなど、人事交流を積極的かつ計画的に進めていく必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実</p> <p>○ふるさと山県に一体感や愛情・誇りがもてる児童生徒を育てます。</p>	<p>(1) 学校提案型教育活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統産業や地域の自然、市の各種施設を有効に活用し、校区を中心に市域全体から人材を活用する等、『ふるさとに学ぶ提案型体験活動』を一層推進します。 ・校長の教育ビジョンを明確にし、地域や学校の伝統の上に立った創意あふれる「特色ある教育活動」を推進します。 	<p>学校教育課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校提案型教育活動を全小中学校で実施した。「環境、農業体験、伝統、芸能等、多岐にわたる実践」(経年比較±0) ・小学校9校において「山県市歴史民俗資料館」でふるさとの歴史を学ぶ活動(H30年度新規事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域の特色を生かした実践を積み上げることができた。 ○ふるさとの自然や歴史・文化を学ぶ「ふるさとに学ぶ提案型体験活動」を意図的に進めることができた。 ○地域の人との交流を通して、地域の文化や伝統的な文化を学習することができた。 ●地域の歴史・文化、日本の伝統的な文化を学び、継承する機会の一層の充実を図る必要がある。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実</p> <p>○ふるさと山県に一体感や愛情・誇りがもてる児童生徒を育てます。</p>	<p>(2) ふるさと大好き、わくわく体験事業</p> <p>・各学校の創意を活かし、地域の自然や施設を十分活用した魅力あふれる「宿泊体験プログラム」を充実します。</p> <p>・学校、地域、施設等の連携を強化し、体験活動の場や機会の開拓、指導者の確保等、地域住民と共に創る学習活動を推進します。</p>	学校教育課	<p>・小学校9校において宿泊体験活動をグリーンプラザみやまコテージ村にて実施 (H29同様) ※主な活動：古城山登山、野外炊事、キャンドルサービス、化石採集、茶摘み体験、川下り、カワゲラウォッチング、ますつかみ体験、円原伏流水見学等</p>	<p>○地域の自然や文化に触れながら、仲間と共にやり遂げる喜びを実感することができた。</p> <p>○学校コラボレーター事業と連携して地域の指導者の確保ができた。</p> <p>●市内の文化施設等の一層の活用を図る。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実</p> <p>○ふるさと山県に一体感や愛情・誇りがもてる児童生徒を育てます。</p>	<p>(3) 地域とともにある学校の推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様々な教育活動が効果的かつ安全に実施できるよう地域力を活用した学校コラボレーター事業を推進します。 ・地域とともにある学校にするために、地域教育協議会を発展させ、「学校運営協議会」の設置を推進し、具体的内容や計画、実施における成果と課題等の状況を把握し、指導助言します。 ・幼保・小中の連携を一層推進するとともに、山県高等学校との交流や連携の在り方を実践的に推進します。 ・保護者や地域住民が学校運営に参画できる制度づくりに取り組めます。 	学校教育課	<p><学校運営協議会回数> H29 合計43回 H30 合計57回</p> <p><キャリア教育活動例> ・高中「キャリアナビ」 ・美山中「働くおとな講座(我が社自慢)」</p>	<p>○各学校の特色を活かした支援部会を設置し、学校コラボレーター事業と連携して取り組むことができた。</p> <p>○保護者や地域住民が一体となって学校運営に参加してもらうことができた。これにより、児童生徒への教育効果が高まったり、教職員の負担軽減が図られたりといった成果が見られた。</p> <p>●地域のニーズを的確にとらえ、学校と地域、幼保・小・中・高の一層の連携を進めていきたい。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策2 ふるさとの伝統や地域性を活かした特色ある教育活動の充実</p> <p>○ふるさと山県に一体感や愛情・誇りがもてる児童生徒を育てます。</p>	<p>(4) 学校コラボレーター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校コラボレーター事業の普及活動、広報活動を積極的に行います。 ・学校コラボレーターの登録者を広く公募するとともに、効果的な活動ができるよう学校コラボレーター会員の定期的な研修会を実施します。 ・学校コラボレーター会員の行う学習支援活動等を拡大、充実し、効率的に行えるよう地域コーディネーターを中心として計画・調整の体制を確立します。 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校コラボレーター名簿を製本し、各小中学校に配付 ・学校コラボレーター会員に180人登録 ・活動実績 H29：512件 延べ3,658人 H30：536件 延べ2,132人 	<p>○各校区の活動内容や今後の方向を確認し、更なる充実方法を交流できた。また、各学校のニーズに合わせた積極的な活動ができた。</p> <p>○「うどん作り」や「たぬきの糸車」などの支援を通して、児童の体験的な活動を活性化させることで、学びに向かう意欲を一層高めることができた。</p> <p>●諸事情により、活動ができないコラボレーターも多数みえる。また、登録していただいているが学校から要請がない方もみえる。今後学校にニーズを把握して再登録していく必要がある。</p> <p>さらに児童生徒への様々な教育活動への支援が拡大・充実するよう、地域の企業や山県市の枠を超えた関係機関との連携も検討する必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学びの意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策3 学校間連携事業の充実 ○全ての学校が参加し、体を鍛え、豊かな心をはぐくみます。	(1)体力づくり・スポーツ振興事業 ・山県市小学生陸上記録会を実施し、児童の体力や運動能力の向上を目指します。 ・毎年7月に山県市中学校総合体育大会を実施し、技能向上と他校との交流を図り、技能の向上と健全なスポーツ精神を養う機会とします。	学校教育課	・各校において新体力テスト、体育の授業などにおいて記録を測定 H29：473人 H30：417人 ・7月に7種目において、市中学校体育大会（中体連）実施 （経年比較±0）	○陸上記録会は、各校において記録を測定することで、児童の取組に対する価値付けを年間通じて行うことができた。 ○団体競技において、優秀選手賞を表彰することで、勝敗に関わらず活躍した生徒を表彰することができた。 ●各校の体力向上の取組の充実を図る必要がある。	A
		(2)芸術・文化教育推進事業 ・文集「やまびこ」を活用して、表現活動や読書活動等の学習活動を充実するよう各校で工夫します。 ・絵画・書写等の特に優秀な作品は、展示会を開催する等、市民に広く紹介します。	学校教育課	・テラステーション（全学校共有のサーバー）上に「国語科作文等指導資料」をアップ ・11月8日～12月2日に山県市美術館において「子どもの市展」を開催 H29：作品数 6,024 H30：作品数 5,853 来場者 H29： 941人 H30：1,055人	○テラステーション（全学校共有のサーバー）上に様々な資料をアップすることで、いつでも作文指導に活用できるようになった。 ○「子どもの市展」では、多くの方に鑑賞してもらうことができた。 ○表彰式を市役所で行ったことにより、市長から直接、賞状等を手渡すことができた。	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	<p>■主要施策4 教育センター機能の充実と改革</p> <p>○各種事業推進のためのセンター機能を強化、効率化を図ります。</p>	<p>(1) 力のある教師や支援員等を育てる教職員研修推進事業</p> <p>・各種組織との連携や市内教職員の専門性や特技を活かして、教職員のニーズを満たす研修講座を開設し、教職員の研修意欲や専門性の向上に努めます。</p> <p>・採用から10年までの若手教職員の育成を目的とした研修講座を開設し、教職員としての技能や資質の向上に努めます。</p> <p>・別の支援が必要な児童生徒への効果的な対応ができるよう市費雇用の支援員等の資質・能力の向上に努めます。</p> <p>・幼稚園や保育園と連携したスタートカリキュラム作成を継続し、小学校と幼稚園・保育園が連携して情報交流を行い、就学前後の一貫した指導の充実に努めます。</p>	学校 教育課	<p>・「夏期講座」 H29：10講座 188人 H30：8講座 147人</p> <p>・教育センター基本研修会（初任者研修等） H29：29回 1,457人 H30：25回 1,352人</p> <p>・市費学習支援員等の研修会（経年比較±0）</p> <p>・スタートカリキュラムを活用した時間割編成の実施。（拡充）</p>	<p>○夏期講座を教職員が受講し、資質向上をやベテラン力をさらに伸ばすことができた。</p> <p>○年数に応じた研修を行うことで、資質の向上に努めることができた。</p> <p>○大学教授による有意義な研修会が実施できた。</p> <p>○スタートカリキュラムを活用することで、多くの児童が学校生活を円滑にスタートすることができた。 ●個別に支援が必要な児童・生徒に対する支援の在り方について、援助できる体制をさらに整える必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果と課題	
学ぶ意味や喜びを味わえる学習づくり	■主要施策4 教育センター機能の充実と改革 ○各種事業推進のためのセンター機能を強化、効率化を図ります。	(2) 教育センター機能充実事業 ・児童生徒の優秀な作品の保管場所を確保し、必要に応じて学習活動に利用できるよう工夫します。 ・センター施設や所蔵の備品、センター図書の実を充実を図ります。 ・インターネットを活用して蓄積した教育実践や調査・研究の情報を市内の教職員が積極的に活用するよう啓発します。	学校 教育課	<教育センター講座実績> H29：382回 5,100人 H30：389回 4,647人 ・テラステーション（共有のサーバー）の整備活用（拡充）	○教育センターの事業が定着し、学校への支援・連携も充実してきた。 ○センター施設や所蔵の備品を有効に活用する学校等が増えた。	A
		(3) 教育相談機能の充実事業 (適応指導教室コスモス) ・必要に応じてより効果的に生活相談員や教育相談員が対応できるよう配置や事業内容等を見直します。 ・生活相談の実践的な指導法の研修を日常的に実施するとともに、情報を確実に把握して指導に活かします。 ・家庭に課題をもつ児童生徒については、福祉課や子ども相談センター、警察署等と連携し、相談体制の強化に努めます。	学校 教育課	・不登校出現率と不登校人数 <1,000人当たり> H29：小 5.5 (7人) 中 26.1 (19人) H30：小 5.7 (7人) 中 19.6 (14人) ・コスモス相談件数・来室 H29：463件 ・100回 H30：248件 ・89回	○4人の児童・生徒が適応指導教室コスモスに来所し、登校復帰へ向けた支援を行うことができた。 ○月1回の生活相談員・教育相談員研修会を行うことで、同一歩調で指導を行うことができた。 ○美山分室と高富分室を状況に応じて活用し、希望があっても来所できない児童生徒に対応できた。	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策5 学校整備の推進</p> <p>○だれもが安心して、だれにも快適な環境としての学校を創ります。</p>	<p>(1) 非構造部材の耐震対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」に沿って、天井材の落下防止対策及び収納棚等の転倒防止対策を計画的に進めます。 ・既存耐震対策設備等の維持管理および照明器具や備品棚等の更なる対策を行います。 	学校教育課	<p>H28：体育館設置のガラス棚の撤去または飛散防止フィルム張り</p> <p>H29：LED 照明器具取替に合わせ、落下防止等の改善</p> <p>H30：校舎・体育館の劣化点検と不良箇所(H30:21箇所)の修繕</p>	<p>○既存設備の整備と維持管理ができた。</p> <p>○校舎及び体育館の施設点検を行い安全確保に努めることで災害時への準備ができた。</p> <p>●対応済み箇所においても継続的な維持管理をする必要がある。</p>	A
		<p>(2) 学校木質化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の大規模改修にあわせ、児童生徒のふれあう場所を中心として、木質化への取組を進めます。 また、机・椅子等の更新時には山県市産木材の利用に努めます。 ・小規模改修や修繕においても木質化取組の検討をします。 	学校教育課	<p>H28：桜尾小(放課後児童クラブ教室木製ロッカー整備)</p> <p>H29：伊自良北小・いわ桜小(放課後児童クラブ教室木製ロッカー整備)</p> <p>H30：木質化整備計画無し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木質化整備計画の施設改修がなかったため事業はできなかった。 ・今後、学校施設改修事業の計画を進める段階で県産材や山県市産材使用について検討する。 	—

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策5 学校整備の推進</p> <p>○だれもが安心して、だれにも快適な環境としての学校を創ります。</p>	<p>(3) 学校施設の防災機能強化事業</p> <p>・多目的トイレが未整備の学校体育館トイレを計画的に改修します。また、各学校に防災備蓄倉庫や自家発電設備等を計画的に整備していきます。</p> <p>・既存設備の維持管理をします。</p>	学校教育課	<p>・H29年度までに多目的トイレの整備完了</p> <p>・H30:既に整備した多目的トイレの維持管理を行った。</p>	<p>○既存設備の整備と維持管理ができた。</p> <p>●災害時の地域の防災拠点として、トイレ改修を進めていく必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策6 学校適正規模化の推進</p> <p>○地域の実情や動向をみつめ学校の適正規模化を推進します。</p>	<p>(1)方針に基づいた統合推進事業</p> <p>・「山県市立小学校及び中学校適正規模推進基本方針及び推進計画」に基づき、複式学級が想定される小規模小学校は、学校統合の準備期間等を考慮し、就学前の早い段階で見定めを行い、保護者や地域住民の意見を聞きながら、学校統合についての検討を進めます。</p> <p>・過小規模小学校については、小規模の特性を活かした特色ある教育活動を支援しながら、県費及び市費による非常勤講師を配置し、複式学級の状態を極力解消しつつ、学校統合の必要性を判断していきます。</p> <p>◎適正規模の見定めと、将来を見据えて、適正規模の取組について見直しをします。</p>	学校教育課	<p>・平成36年度までの児童生徒数の推移予測に基づき、今後も過小規模の学校が複数想定されることを見定め、適正規模の取組について、将来を見据えて計画的に進めていくことを確認して見直しを行い、市ホームページ等で市民に周知した。</p> <p>・複式学級(小)の推移 H26：4学級 H27：5学級 H28：5学級 H29：6学級 H30：6学級</p>	<p>○適正規模推進基本方針及び推進計画が作成された当時との状況の変化を考慮した現況に応じた取組の見直しはできた。</p> <p>●複式学級も増加傾向にあることなどからも、地域と学校の共有された願いを受け止めた上で、新たな学校像・部活動の在り方等を模索していく必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	■主要施策7 快適な学習環境整備の推進 ○全ての人に優しく、居心地のよい学習環境を整備します。	(1) 冷暖房設備整備事業 ・特別教室等へのエアコン設置について検討を進めます。 ・既存設備の維持管理及び計画的な入替更新を行います。	学校 教育課	・H29：普通教室整備完了 ・H30：伊自良中学校の特別教室等の空調設備について改修工事、その他一部取替工事、修繕により適切な維持管理を行った。 ・特別教室等への新規のエアコン設置については、その必要度を引き続き検討していくこととした。	○既存の空調設備の改修、修繕及び取替を行い、学習環境を整備することができた。 ○特別教室等のエアコン設置について調査し必要度を検討した。 ●特別教室等のエアコン設置箇所の検討、整備及び省エネ等への取組を推進する必要がある。	A
		(2) トイレ美化推進事業 ・和式から洋式への移行と乾式化について検討を進めます。 ・既存設備の維持管理を行います。	学校 教育課	・H30：洋式及び多目的の箇所数増について引き続き検討することとした。 ・小中学校ごとにトイレ清掃美化活動を行った。 ・既存設備の修繕又は取替実施	○既存設備の整備と維持管理ができた。 ●いわ桜小・伊自良北小1階のトイレの洋式化・乾式化を図る必要がある。 ○美化意識を向上することができた。 ○既存設備の修繕又は取替を行うなど、環境を整備することができた。	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果（○）と課題（●）	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策7 快適な学習環境整備の推進</p> <p>○全ての人に優しく、居心地のよい学習環境を整備します。</p>	<p>(3) バリアフリー化推進事業</p> <p>・学校施設内の段差を極力解消するとともに、手すり及びスロープを設置するなど、環境改善の検討と整備を進めます。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>・前年度までの改修工事により全小中学校の体育館トイレの段差が解消され、今後は他の箇所での手すり及びスロープ設置の必要性に重点に置いて引き続き検討することとした。</p> <p>・既存の手すり修繕など、設備の適切な維持管理を行った。</p>	<p>○既存設備の整備と維持管理ができた。</p> <p>○設備の適切な維持管理を行ったことにより、環境を整備することができた。</p> <p>●学校施設内の危険箇所の定期的な見直しと整備を図る必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策8 読書活動の充実と情報教育の推進</p> <p>○全ての児童生徒が読書に親しみ、快適に情報機器を活用できるようにします。</p>	<p>(1)「学習・情報センター機能をもつ図書館経営」推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の充実のため、今後も、全小・中学校に読書指導員を配置し、実践的な研修会を開催します。 ・学校図書館内の修繕や設備の充実に努め、PTAやボランティアを有効に活用して、学習・情報センター機能をもつ学校図書館を創造します。 ・図書バーコード化を推進するとともに各学校や市図書館、市教育センターとのネットワークづくりに努めます。 ・児童生徒が一人で過ごしたり、年齢の異なる様々な人々との関わりをもったりすることができる「心の居場所」となる場とします。 <p>◎全小中学校、教育センターで図書バーコード管理サービスへの蔵書登録を進め、ネットワーク化を完了します。</p>	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・全学校に読書指導員配置 ・研修会の開催 H29年度 2回 H30年度 2回 ・図書館ボランティアによる、飾り付けや掲示等の環境整備の実施 ・図書バーコード管理サービス導入、推進 H28年度 5校 H29年度 12校+教セ H30年度 継続推進 ・桜尾小で図書室の地域住民への開放を開始 利用登録者 40人 ・蔵書登録数(12校+教セ合計) H29年度 約2.5万冊 H30年度 約9万冊 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館運営の交流を行うことで、読書指導員の図書紹介等の技能を高めることができた。 ○掲示等の工夫により、環境の充実を図れた。 ○小中学校、教育センターの蔵書約9万冊がネットワーク検索対象となった。 ●市図書館と連携強化を具体化する必要がある。 ○地域住民の来訪や、読書サロンの実施により、児童や学校職員と地域住民の関わり場が創出できた。 ○小中学校、教育センターの蔵書情報が図書バーコード管理サービスに登録完了し、ネットワーク検索環境を整備できた。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
児童生徒のよさを生み出す環境づくり	<p>■主要施策8 読書活動の充実と情報教育の推進</p> <p>○全ての児童生徒が読書に親しみ、快適に情報機器を活用できるようにします。</p>	<p>(2) 学習用ICT整備・活用事業</p> <p>・思考力・判断力・表現力等を育成するために、最新の視聴覚教材や教育機器を段階的、計画的に整備します。</p> <p>・学習課題への興味関心を高めたり、学習内容を分かりやすくしたりするために、授業でのICT活用を推進します。</p> <p>・インターネットや携帯電話、スマートフォン等の普及にともなって起こる「ネット上のいじめ」問題に対応するために児童生徒及び教職員に対する情報モラル教育の徹底を図ります。</p> <p>◎教育ICT設備を更新、拡充整備し、普通教室等で日常的にICT機器を活用した授業を実施できる環境を整備します。</p> <p>◎ICT教育推進校を中心にICTを活用した学習の実践交流を実施し、活用事例の展開を図ります。</p>	学校 教育課	<p>・教育ICT機器の計画更新、新規整備を実施 H29年度 推進校で試用 H30年度 小6校</p> <p>・情報教育権推進委員会開催 H28年度 1回 H29年度 2回 H30年度 3回</p> <p>・ICT活用研修の開催 H30年度 2回</p> <p>・情報モラル研修(児童生徒、教員、保護者向け)の実施 H29年度 2回 H30年度 2回</p> <p>・可搬型機器の新規導入 H30年度 小6校</p> <p>・電子黒板、デジタル教科書の新規導入 H30年度 推進校 小1校</p> <p>・実践交流の実施 H29年度 1回 H30年度 1回</p>	<p>○最新の機器(タブレットPC136台、無線LAN30台、電子黒板2台、デジタル教科書1校全学年4教科)、新たな機器を整備することができた。</p> <p>○教員研修や実践交流の実施により、授業でのICT活用を推進できた。</p> <p>○警察や専門機関とも連携し、最新の問題についての研修を実施することができた。 ●問題を未然に防ぐために継続的に教育を徹底する必要がある。</p> <p>○普通教室でタブレットPC等のICT機器を活用できる環境を整備した。</p> <p>○各校の情報教育担当教員間で実践交流を実施し、展開を図ることが出来た。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策9 学校保健の充実と食育の推進</p> <p>○健康な心身を育む学校保健・食育の充実に努めます。</p>	<p>(1) 学校保健「心と体の健康」(歯と口腔の健康づくり) 推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と歯科医師会との連携を密にして、専門的立場からの助言を教育活動に活かします。 ・各学校の実情に応じて年間計画を策定し、『心と体の健康』(歯と口腔の健康づくり) を目指した保健教育の充実に努めます。 ・これまでの成果をふまえ、フッ化物洗口の実践と歯肉炎予防における歯科保健教育(ブラッシング指導等)を継続します。 ・山県市学校保健研究大会の開催 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校及び山県市学校保健会が、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携を図り、次の事業を実施。 「各種健康診断」 「歯と口腔の健康づくり優良児童審査会」 「学校環境衛生活動調査」 「岐阜県学校保健研究大会の開催」 ・フッ化物洗口 <p>H29 小：99.5% 中：99.7%</p> <p>H30 小：99.4% 中：99.9%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人平均むし歯本数(DMF T指数) <p>H29 0.06本 H30 0.12本</p>	<p>○学校と学校医が連携を図り、児童生徒の健康づくりができた。</p> <p>○山県市学校保健研究大会は約100人が参加し、充実した大会となった</p> <p>○各学校がフッ化物洗口を継続して実践していることから、県内で12歳児1人当たりのむし歯は、全国トップクラスの少なさとなっている。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策9 学校保健の充実と食育の推進</p> <p>○健康な心身を育む学校保健・食育の充実に努めます。</p>	<p>(2) 地産地消と食育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校で「いい歯の日」、「食育の日」を設定し、『山県ふるさと食材』を活かす献立を工夫し、その他の食材も地産地消を一層推進します。 ・食育や地場産業の育成等の観点から、市の関係部局と問題を共有しながら食材の安定的な供給を目指します。 ・児童生徒の朝食欠食や孤食等の食生活の改善に向けた食育の充実と家庭への啓発を進めます。 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・食品数の割合における地場産物使用割合 H28 28.7% H29 34.6% H30 30.3% ・使用量における地場産物使用割合 H28 12.0% H29 13.7% H30 12.6% ・各小中学校で、学校保健委員会や給食試食会等で、食育講話を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○山県市総合計画における学校給食の地場産物使用割合の数値目標を達成 数値目標 平成31年度：30.0% ○中学生学校給食選手権に市内全中学校が参加し、市特産品や地場産物を取り入れた献立を考えることで、郷土について学びながら、食育の推進ができた。 ○いい歯の日・食育の日にちなんだ献立を工夫し、食育推進に努めた。 ●学校給食会計の公会計化を図る必要がある。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策9 学校保健の充実と食育の推進</p> <p>○健康な心身を育む学校保健・食育の充実に努めます。</p>	<p>(3) 調理場整備推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性と効率性を大切にして、調理場の整備を推進します。 ・ウエットシステムの調理場については、ドライ運用を徹底し、安全管理に努めます。 ・既存設備の維持管理および点検による不適箇所早期改善に努めます。 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエットシステムの調理場10校ではドライ運用を徹底(経年比較±0) ・調理備品の一部を更新(4校) 	<p>○ドライシステム運用の必要性を理解し、安全管理に対する意識が高まった。</p> <p>○調理備品の一部更新により、衛生面と安全面の確保等が図られた。</p> <p>●既存の調理備品を順次更新していく必要がある。また、調理場の衛生面等維持のため、順次床の修理を行っていく必要がある。</p>	A

重点 施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成果 (○) と課題 (●)	
信 頼 に 満 ち た 安 心 ・ 安 全 な 学 校 づ く り	<p>■主要施策10 学校サポート体制の充実</p> <p>○全ての児童生徒が等しく安全に学べる教育環境を創ります。</p>	<p>(1) 学校支援員等配置事業</p> <p>・各学校の要支援児童生徒の実情に応じて、全学校に各1名以上かつ児童生徒100人に1名の学習支援員または教育サポーターの配置を目指し、全ての児童生徒の学業や生活を支援します。</p> <p>・学習支援員等の研修会を企画し、情報交流や指導法の交流を行い、支援技能を高めます。</p>	学校 教育課	<p>・英語活動支援員 6人 (新規)</p> <p>・H26: 支援員 18人 (2,247人中) 100人に0.80人</p> <p>・H28: 支援員 22人 (2,091人中) 100人に1.05人</p> <p>・H30: 支援員 26人 (1,873人中) 100人に1.39人</p>	<p>○英語活動支援員を小学校に新規に配置し、外国語活動の支援を実施した。</p> <p>○要支援児童生徒が増加している実態に応じ、複数の児童生徒に学習支援員が寄り添い、それぞれの児童生徒の実態に即したきめ細かな指導ができた。</p> <p>○主任学習支援員による支援の仕方等の研修会や学校訪問指導を行い、学習支援員の指導力を高めることができた。</p> <p>○複式学級のある小学校に複数配置できた。</p> <p>●有効な支援の在り方の研修を推進し、さらに学習支援員の資質向上や支援体制の強化を図る必要がある。また、有能な人材の確保を図る必要がある。</p>	A

重点 施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実 績	成果 (○) と課題 (●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策10 学校サポート体制の充実</p> <p>○全ての児童生徒が等しく安全に学べる教育環境を創ります。</p>	<p>(2) 教育・生活相談員配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒数の出現率の減少を目指し、教育相談員を配置し、各学校との連携体制を整備します。 ・児童生徒の実態に応じた学校、家庭、関係機関等の連携と相談活動が有効に働くようにするため、生活相談員の職務内容等について見直します。 ・教育・生活相談員の実践等を通して、学校の教職員の教育・生活相談にかかわる資質・能力の向上を図ります。 	<p>学校 教育課</p>	<p>・不登校出現率と不登校人数 (1,000人当たり)</p> <p>H29：小 5.5 (7人) 中 26.1 (19人)</p> <p>H30：小 5.7 (7人) 中 19.6 (14人)</p> <p>・教育相談員 3人 「高富中2人、美山中に1人配置」 (経年比較±0)</p> <p>・生活相談員 4人 (経年比較±0)</p>	<p>○学校との情報交流を密にし、学校、保護者、諸関係機関と指導方法を共通理解して、不登校の早期解決・減少を図ることができた。</p> <p>○高富中央公民館に適応指導教室の分室を設置し、不登校児童生徒のニーズに対応した。</p> <p>○毎月の研修会で、市内の児童生徒の状況と今後の方向を話し合い、積極的な相談体制を進めることができた。</p> <p>●不登校児童生徒数のさらなる減少のために、教職員を対象とした学校環境適応尺度(アセス)等研修を開催し、教職員及び相談員の資質向上を図る必要がある。</p> <p>また、幼保・小・中・高と支援が継続していく体制をさらに整えていく必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策11 緊急事態への態勢強化を推進</p> <p>○安心・安全な学校を目指し、危機管理・安全教育を充実します。</p>	<p>(1) あんしんネットによる登下校等安全対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全な登下校のために、学校関係者への登録を積極的に進めます。 ・児童生徒の安全確保のために、教育委員会から一斉に「不審者情報」や「災害情報」を各小・中学校・保育園及び保護者、地域ボランティアの携帯電話・パソコンに配信します。 ・各小・中学校から「配信元の学校単位」機能を使って、学校行事や緊急の連絡等、教職員や保護者に必要な情報を配信できるよう啓発します。 	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話メールを利用したあんしんネットに全保護者の99%が登録し、不審者情報や、学校の行事連絡等に積極的に利用 ・使用頻度 H27：529件 H28：555件 H29：651件 H30：802件 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の不審情報や警報発令時の対応状況等を素早く周知できた。 ○様々な情報発信等、あんしんネットの積極的な活用ができた。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策11 緊急事態への態勢強化を推進</p> <p>○安心・安全な学校を目指し、危機管理・安全教育を充実します。</p>	<p>(2) 生徒指導連携強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導連携強化委員会を年9回開催し、9小学校と3中学校と高等学校の生徒の様子について交流し、課題を明確にして生徒指導の方向性を検討します。 ・生徒指導連携強化委員会研修会(関係施設見学・講演等)を年1回開催し、生徒指導についての最新の知識や指導法を学びます。 ・小中高研究部会を年3回開催し、9小学校と3中学校と高等学校の生徒の様子について交流し、課題を明確にして生徒指導の方向性を検討します。 	学校 教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動出現率と実際の件数(1,000人当たり) H28: 7.7 (小: 6件、中: 10件) H29: 12.0 (小: 11件、中: 13件) H30: 7.7 (小: 1件、中: 14件) ・生徒指導連携強化委員会を開催し、各学校、各機関と連携(経年比較±0) ・小中高、1回ずつ授業参観を行い、その後、生徒指導交流を開催(経年比較±0) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校の情報交流をすることで、市内の生徒指導について共通理解することができた。 ○青少年育成推進員など地域の方々と情報交流を図る場を位置付けることができた。 ○保・小・中・高校の授業参観を行うことで、異校種の実態について知ることができた。 ●市内学校を取り巻く関係職員が市内の状況を共有できる情報交流会を定期的に開催する必要がある。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
信頼に満ちた安心・安全な学校づくり	<p>■主要施策11 緊急事態への態勢強化を推進</p> <p>○安心・安全な学校を目指し、危機管理・安全教育を充実します。</p>	<p>(3) いじめ防止対策推進事業</p> <p>・各学校のいじめの実情に応じて、具体的な取組や対応、評価について検討し、いじめ基本方針の見直しや改善をします。</p> <p>・校内のいじめ未然防止対策委員会の体制の整備や保護者や関係機関の連携を強化します。</p> <p>・具体的ないじめ事案について全教職員が研修し、積極的な生徒指導力を培うとともに共通理解・共通行動を図ります。</p>	学校 教育課	<p>・いじめ出現率 (1,000人当たり) H28：小 15.9 中 25.6 H29：小 8.6 中 24.7 H30：小 10.5 中 18.2</p> <p>・各校「いじめ基本方針」改訂</p> <p>・いじめ未然防止対策委員会を定期的に行うことによる実態把握</p> <p>・スクールカウンセラー等を活用した研修を各校で実施</p> <p>〈スクールカウンセラー活用実績 延べ4人90日勤務〉 H29：小 159件、中 193件 H30：小 178件、中 185件</p> <p>・「あったかい言葉がけ運動」への参加</p>	<p>○いじめ未然防止対策委員会が、職員の共通理解・共通行動を進めるための中核として機能している。</p> <p>○改定した各学校のいじめ防止基本方針が定着し、いじめ見逃しゼロにつながってきた。</p> <p>○二者懇談を行うなど、児童生徒の実態把握に努めたり、アンケート調査を定期的に行ったりするなど、未然防止の取り組みを積極的に行うことができた。</p> <p>○各校の実態に応じた現職研修を行うことで、共通理解・共通行動を図ることができた。</p> <p>○「いじめ見逃しゼロ」を合言葉にし、小さなトラブルも見逃さない姿勢と解消に向けてチームで対応する学校体制が定着してきている。</p> <p>●スクールカウンセラー等の更なる活用について要望・検討する必要がある。</p> <p>●特にインターネットや携帯電話などによる誹謗中傷等の事案(中学校は半数)が増加している。未然防止に向けた情報モラル教育等の充実を図る必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策12 乳幼児期からの家庭教育の推進</p> <p>○家族ぐるみの楽しい家庭教育の在り方を啓発します。</p>	<p>(1) 家族ぐるみの子育て実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての保育園・小・中学校において家庭教育学級を開設し、参加者を積極的に募ります。 ・家庭教育学級を保護者の学習の場、保護者同士の交流の場として位置づけ年間計画を立て計画的に開催します。 ・子育て支援課主管の子育てネットワーク協議会と情報交換等を行います。 ・子育てネットワークを基盤にした「家庭教育支援チーム」の立ち上げに取り組み、家庭教育に関する支援体制を整える。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級開催 保育園(7園):平均3.1回(前年度:同3.1回) 小中学校(12校):平均7.5回(前年度:同7.0回) ・県主催リーダー研修会 年1回(前年度:同数) ・市主催新旧合同説明会 年1回(前年度:同数) ・協議会の開催 役員会 年2回(前年度:同数) 実務者会議 年4回(前年度同数) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市の家庭教育学級テーマ及び園や小中学校の実態や方針等を踏まえて、個々にテーマを設定し、年間計画を立て実施。 ○各園、各校の行事に合わせ、参加者の増加が図れた。 ○「在宅取り組み型」の講座を企画し、自宅にしながら取り組める環境を作り、参加率を高めた。 ●父親や祖父母も参加できる講座や「サロン型」を取り入れて、保護者同士の交流を増やす。 ○事例検討、情報交換を行い課題と対応策の共有を図った。 ●子育て支援ネットワークを基盤とした「家庭教育支援チーム」を立ち上げ、家庭教育に関する支援体制が整えられるよう進めていく。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策12 乳幼児期からの家庭教育の推進</p> <p>○家族ぐるみの楽しい家庭教育の在り方を啓発します。</p>	<p>(2) 放課後子ども総合プラン推進事業</p> <p>・やまがた子ども文化クラブによる放課後子ども教室を継続します。また子育て支援課と教育委員会が連携し、地域学校協働活動推進事業・放課後子ども総合プラン事業の推進を図ります。</p> <p>・放課後児童クラブが開設された小学校での放課後子ども教室の在り方を検討し実施につなげるため、学校教育課と調整を行います。</p>	生涯学習課	<p>文化クラブによる教室</p> <p>・土曜教室</p> <p>9教室 39講座</p> <p>延べ参加人数 3,173人</p> <p>(前年度：9教室 37講座 延べ参加人数 3,111人)</p> <p>・放課後のボランティア</p> <p>高富小3回、富岡小3回</p> <p>延べ参加人数計 341人</p> <p>(前年度：同各校各3回 延べ参加人数計 327人)</p> <p>生涯学習課放課後子ども教室【新規】</p> <p>・スタディハビット教室</p> <p>小学校9校 11教室</p> <p>(年平均 25.2回)3年生のみ</p> <p>希望参加登録 114人</p> <p>・放課後子ども教室交流会</p> <p>年4回</p> <p>・運営協議会</p> <p>年1回</p>	<p>○山県市ならではの放課後子ども総合プランの推進ができた。</p> <p>●学校や子ども文化クラブ、放課後児童クラブなどの調整及び連携、指導者・コーディネーター、まなびサポーター等の人材確保と実施体制の充実を図る必要がある。</p> <p>○実践・評価・改善をしながら実施できた。</p> <p>●学校教育課、子育て支援課、放課後児童クラブとの調整及び連携を図りながら実施する必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策13 青少年健全育成の推進</p> <p>○地域と家庭・学校が一体となって青少年を育てる体制を整備します。</p>	<p>(1) 青少年健全育成事業</p> <p>・地域住民、学校、関係機関・団体との連携強化による青少年の健全育成運動を積極的に推進します。</p> <p>・心豊かな明るい家庭づくりを推進します。</p> <p>・青少年の健全な団体活動、社会参加活動を促進します。</p> <p>・青少年の健全な社会環境づくりといじめや非行の防止に努めます。</p>	生涯学習課	<p>・市青少年育成市民会議事業 総会 130人(前年度 140人) 少年の主張大会 130人 (同 160人) 推進大会 161人(同 170人) 中学生と市長と語る会</p> <p>・街頭啓発(推進員等) 3店舗にてチラシ等 400部</p> <p>・家庭の日啓発の同報無線</p> <p>・各校区青少年健全育成活動費補助</p> <p>・地域活動への小中学生の参画(伊自良夏祭り、夏の集い等)</p> <p>・電柱に「いじめ防止」を訴える標語看板の設置 (2企業3箇所 H30年3月末 8企業17箇所 H31年3月末)</p>	<p>○青少年の現状と課題について、PTA連合会等青少年育成関係団体との情報共有に努め、事業の充実を図った。</p> <p>●より多くの市民が参加してもらえよう促す工夫が必要である。</p> <p>●社明運動の活動日と同日となり、一部役員は出席できないため開催時期を検討する。</p> <p>○各校区にて青少年と地域住民が交流する機会を設け、相互理解を深めることができた。</p> <p>●校区単位での事業の充実度に地域格差がある。</p> <p>●平成30年7月以降は看板の設置数が増えていない。企業への周知方法を検討する。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策13 青少年健全育成の推進</p> <p>○地域と家庭・学校が一体となって青少年を育てる体制を整備します。</p>	<p>(2) 成人式開催事業</p> <p>・実施する年度中に20歳を迎える人をお祝いするため、市としての式典及び実行委員会による記念パーティーを行います。</p> <p>・広報やまがた等を活用して、実行委員会委員の募集を行います。</p> <p>・厳粛なうちにも新成人が親近感をもつよう、今後も実行委員会によるパーティーを企画します。</p>	生涯学習課	<p>・平成31年1月13日実施対象者319人(前年295人)出席者230人(前年231人)出席率72.1%(前年78.3%)(外国人を含む市内在籍分)</p> <p>・6号広報に実行委員募集の記事を掲載した。</p> <p>・実行委員の司会進行による記念パーティーを開催した。</p>	<p>○成人したという自覚と、責任ある行動を取ることに意識を高めることができた。</p> <p>●令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられることから、今後の成人式のあり方について早急に検討する。</p> <p>○広報に掲載して、実行委員募集を周知した。</p> <p>●応募が少ないため、実行委員の確保が困難である。</p> <p>○実行委員が企画や運営に携わることにより、新成人自らが成人式に関わることができた。</p> <p>●実行委員による企画や運営が行えるよう、内容を工夫する必要がある。</p> <p>●まちづくり企業支援課と協力して、出席者に対して市の魅力を知ってもらう場を設けるよう検討する。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進</p> <p>○だれもが自主的に学ぶ生涯学習のまちづくりのための環境を整備します。</p>	<p>(1)生涯学習関係団体育成・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体が自主的に運営や活動ができるよう指導・助言体制を整備します。 各団体・各会員の学習意欲を満たすことができる適切な指導者を紹介できるように支援体制を強化します。 該当団体と行政や他団体がスムーズに連携できるよう助言します。 	生涯学習課	<p>【会議等回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成協議会役員会 H30-年5回、H29-年6回 PTA代議員会 毎年7回 <p>【研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの問題行動の捉え方と解決の手がかり 情報モラル教育 立志教育 <p>【研修会等参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> インリーダー及び育成指導者研修会 H30-90人、H29-111人 PTA役員研修会 H30-92人(うち青少年関係者11人参加) H29-110人 PTA・青少年育成合同大会 H30-161人(PTA85人、青少年育関係者76人参加) H29-170人 <p>【上部組織等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体ごとに県地区等上部組織の会議と研修会に参加 毎年1~4回 	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な事業運営・活動実施により、会の発展と会員相互の理解等が図れた。 ○研修会実施によりインリーダーや育成指導者の交流と資質向上を図れた。 ●参加者の漸減と固定化の傾向に対し、参加を促す工夫が必要である。 ●会の積極的なPRと、見直しも含めた事業内容の検討、手法の工夫が必要である。 ○時代や社会情勢を反映した研修内容と指導者選定に努め、実施することができた。 ○PTA研修会への青少年育成関係者の参加により、両会員の連携と相互理解、会の充実が図れた。 ○各団体の年間行事計画等の情報を収集・一括し、情報共有が図れた。 ●より多く会員の参加を促す工夫が必要である。 ○上部組織や他市町村会員等との連携交流を図り、研鑽に努めることができた。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策14 新たな生涯学習人口の増加と地域づくりの推進</p> <p>○だれもが自主的に学ぶ生涯学習のまちづくりのための環境を整備します。</p>	<p>(2) 公民館活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化創造・地域づくりのために、市民の要望を踏まえた公民館講座の開設を図ります。 ・サークル活動が充実できるよう登録団体は施設利用料を無料にするなど支援を継続します。 ・公民館長・主事のスキルアップをめざす館長・主事会を開催すると共に広域で開催される研修会に参加します。 ・美山中央公民館（ホール）は、多くの研究大会、講演会、芸能発表会などが開催されるため、利用団体等に呼びかけ、音響設備の操作ができる者の育成を図ります。 ・地区公民館トイレの洋式化改修工事を継続し実施します。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座 平成30年度 38 講座開設 平成29年度 47 講座開設 ・公民館の登録サークルの施設利用料免除 登録サークル数 平成30年度 185 団体 平成29年度 181 団体 ・公民館長・主事会議 平成30年度 5 回開催 平成29年度 5 回開催 ・研修会参加 平成30年度 4 回、35 人参加 平成29年度 4 回、34 人参加 ・美山中央公民館音響設備の操作講習は実施せず ・富岡公民館トイレ改修工事実施設計の実施【新規】 ・桜尾・谷合公民館のトイレ洋式化改修工事の実施 平成29年度は、富岡・富波公民館のトイレ洋式化改修工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○講座活動で自己研鑽と仲間作りができた。 ●講座の申込者が同じような人に偏る傾向にある。 ○講座からサークルに移行した団体が 17 団体あった。 ○公民館業務の理解と職員的意思疎通ができた。 ●研修会に同じ参加者が偏る傾向にある。 ●操作には専門的な知識を必要とするため、専門家や職員による対応が必要である。 ○トイレの改修(洋式化)により、利用者の利便性が図られた。 ●トイレの改修(洋式化) は、予算付けが遅れたおり、年次計画に基づいた改修が実施されていない。 	B

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策15 生涯スポーツの推進</p> <p>○だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。</p>	<p>(1) 健康スポーツ推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の一層の健康増進を図る為と、少年スポーツの推進の為、社会体育施設及び学校開放施設を無料で使用してもらい、健康寿命の増進・体育施設の有効利用を図ります。 ・近年の高齢化社会に対応した健康づくりの面からも、レクリエーション的な運動プログラムの実践を図ります。体育協会や体育振興会との連携を強化します。 ・スポーツ吹矢のPR強化のため、各地区体育振興会等への出前講座事業を展開します。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の登録団体に社会体育施設・学校開放施設利用料の無料化を引き続き実施。 ・ラジオ体操・みんなの体操会を各地区体育振興会と協働し、市内8会場で開催した。参加者1,540人 (H29:1,900人) ・梅原地区公民館発表会へスポーツ吹矢の出前講座を実施した。更に、乾地区の公民館講座として、スポーツ吹矢教室を実施した。 	<p>○学校開放施設及び一部社会体育施設の無料化を引き続き実施することにより、運動への関心と交流が図られた。</p> <p>○夏期に実施するラジオ体操会の定着化を更に図ることができた。</p> <p>○スポーツ吹矢のPRについて、出前講座のほかに、地区公民館講座(新規)においても推進することができた。</p>	A
		<p>(2) 全国大会等出場応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場応援金事業について、幅広く市民の方に周知徹底を図るとともに、出場選手についても、広報等に掲載していきます。 	生涯学習課	<p>【発行枚数】 2,400枚 (H29:2,905枚)</p> <p>【申請者数】 54組 (H29:68組)</p> <p>内訳：スポーツ系 50組 (H29:66組)</p> <p>文化系 4組 (H29:2組)</p> <p>(個人・団体含む)</p>	<p>○スポーツ大会、文化系大会、両出場者の活躍に貢献できた。</p> <p>●HPや広報等を活用し、周知徹底を図る必要がある。</p> <p>●市内各小中学校へ校長会等を通し周知徹底を図る必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策15 生涯スポーツの推進</p> <p>○だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。</p>	<p>(3) 体育施設管理・建設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設や学校開放施設のさらなる積極的活用を推進します。 ・施設利用マナーの向上を図ります。 ・社会体育施設を定期的な点検を実施し、利用者が使いやすいように整備するとともに、予算的に対応可能なものについては、速やかに修繕修理を実施します。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設及び学校開放施設の計画的な貸し出しを実施した。 ・6月に利用者による体育施設の清掃活動を実施した。社会体育施設は指定管理者が、学校開放施設は生涯学習課主催で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の無料化により利用者が増加し、生涯スポーツの振興に貢献できた。 ○一年を通じたマナー徹底の呼びかけにより、学校からの報告は抑えられた。 ●使用マナーに関する啓発をさらに実施する必要がある。 ○予算の範囲内で、速やかな施設修繕ができた。 ●施設の老朽化により今後、修繕修理に係わる経費の増大が見込まれるため、計画的な改修計画が必要である。 	A
		<p>(4) 体育施設指定管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人たかとみスポーツクラブを第3期指定管理者として、利用者のサービス向上に努めるため、定期的に管理・運営状況を把握し、指定管理事業が適切に執行されるよう努めます。 ・指定管理施設の修理・修繕等、NPO法人たかとみスポーツクラブと連携して、使いやすい環境整備・運営に努めます。 	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も市総合体育館をはじめとする市内社会体育施設について、NPO法人たかとみスポーツクラブを指定管理者とし、施設の維持管理を委託した。 ・毎月の管理状況の把握するため、月1回の合同会議や市内社会体育施設の現地視察を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者制度によりサービスの向上が図られ、昨年度並みの売上収入を確保することができた。 ○施設の利用状況及び修理・修繕等の情報を共有することができ、早期の修繕・改修に努めることができた。 ○毎月の管理状況の把握をするとともに、的確な指導・助言をすることができた。 ●美山地域の施設の老朽化等により、修繕費が増加傾向にある。 ●備品等の老朽化についても効率的、効果的な修繕ができるよう検討する。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策15 生涯スポーツの推進</p> <p>○だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。</p>	<p>(5) スポーツ関係団体育成・支援事業</p> <p>・市スポーツ推進委員会を中心に、市スポーツイベントの企画・運営、さらに地域におけるスポーツ振興等の指導助言を充実します。</p> <p>・近年の高齢者社会に対応した健康づくりの面からも、体育協会や体育振興会との連携を強化します。</p> <p>・市民が希望するスポーツ活動に積極的に参加できる環境を整備し、誰もが『気軽に実践できる運動プログラム』の実践を図ります。</p>	生涯学習課	<p>・市民の健康・体力づくりを目標に春と秋の2回、ウォーキングイベントを実施した。 (4/14、11/3) 参加者 計442人 (H29:400人)</p> <p>・市体育協会主催行事 10/21 市民スポーツ大会 参加者 計918人 (H29:349人) 3/9 ジョギング大会 参加者 計1,300人 (H29:1,300人)</p> <p>・市レクリエーション協会と協力し、レクリエーションフェスティバル 2018 開催 (11/25) 参加者 150人(H29:150人)</p>	<p>○健康寿命の延伸を目標に、スポーツ推進員による「ウォーキングイベント」を春と秋に開催し、昨年度並みの参加者を確保することができた。</p> <p>○体育協会加盟団体ごとに種目大会を実施し、市民が参加しやすいスポーツ環境作りを推進することができた。</p> <p>○出店コーナーや警察署のブースも新たに設置し、イベントの盛会に繋げることができた。</p> <p>○高齢化社会に対応した、誰もが参加できるレクリエーション種目の普及を推進することができた。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「学び」と「活用」のサイクルの確立	<p>■主要施策15 生涯スポーツの推進</p> <p>○だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備します。</p>	<p>(6) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業</p> <p>・小学生スクール(12種目)、中学生スクール(13種目)、スポーツ広場(9種目)の充実をはかり、その他四季にあったクラブイベントを実施します。</p> <p>・年3回(前期・中期・後期)に分けて、成人、中学生、小学生の3階層ごとに開催するスポーツ教室を充実させます。</p> <p>・伊自良地域や美山地域でも活動できるよう環境を整備します。</p>	生涯学習課	<p>・会員……………1,036人 (H29:1,197人)</p> <p>・登録指導者………111人 (H29:125人)</p> <p>・スクール事業 (小) 12種目 (中) 13種目 延べ23,625人参加 (H29:24,358人)</p> <p>・スポーツ広場事業 9種目 延べ11,756人参加 (H29:12,308人)</p> <p>・スポーツ教室事業 20講座 延べ5,338人参加 (H29:5,759人)</p> <p>・スポーツイベント事業 3事業 延べ618人参加 (H29:808人)</p>	<p>○多様なニーズに対応した魅力ある事業を展開し、スポーツ振興や多世代による交流を推進することができた。</p> <p>○NPO法人たかとみスポーツクラブ指導者と部活動顧問が連携し中学校へ指導者を派遣することができた。</p> <p>●少子化社会の影響等により、正会員登録者の減少が目立ち、指導者の確保・養成を図る必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	<p>■主要施策16 文化芸術活動基盤の充実と活動の推進</p> <p>○施設を最大限に活用し、市民のニーズに合わせた活動を推進します</p>	<p>(1) 文化の里花咲きホール活用推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種コンサート・公演による市民への芸術鑑賞機会の提供 ・小学校や保育園等、地域へアーティストを派遣するアウトリーチ事業の開催 ・ホールでのワークショップ事業による住民の芸術体験等の提供 ・ボランティア組織を充実し、ホールの円滑な事業推進を図ります。 <p>◎貸し館業務の増加を目指します。</p>	生涯学習課	<p>■鑑賞事業 4回/前年度比 Δ1回 観客数：778人/前年度比Δ122人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓 観客数206人 ・ポップス&クラシック(サックス・ピアノ) 観客数162人 ・ジャズ&ポピュラ 観客数244人 ・クラシック(フルト・ピアノ・ポップス) 観客数166人 <p>■市民参加・体験事業 2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル演劇「やまがた日記2」(2日開催) 出演者、スタッフ 23人/前年度比Δ1人 観客数343人/前年度比 89人 ・「第14回花咲きコンサート」第九合唱団員44人/前年度比 Δ6人 観客数255人/前年度比 Δ31人 <p>■芸術の宝箱事業 (小中学校・保育園アウトリーチ) 実施校：小学校9校・中学校1校 保育園3園 実施回数：25回/前年度比 Δ13回 参加者1,409人/前年度比 77人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓 ・クラシック(サックス) ・クラシック(ピアノ) ・クラシック(フルト・ピアノ) 	<p>○鑑賞事業 公演のみではなく、アウトリーチと連動した公演により、一流アーティストの質の高い公演鑑賞に繋げることができた。また、小さな子供にも楽しんで頂けるようホール内にジョイントマットを敷き、身近で音楽を感じてもらうなど、好評を得ることができた。</p> <p>○市民参加・体験事業 オリジナル演劇及び花咲きボランティアの皆さんによる企画の花咲きコンサートは多くの市民の参加を得て開催することができた。</p> <p>○芸術の宝箱事業 市内の園児や児童に対し、質の高い音楽を間近で体感する機会を提供、豊かな人間性や感性を涵養することができた。</p> <p>●地理的(伊自良地域)な要因と周知(PR)不足から公演の集客に苦戦をしている。市民のニーズに応えた魅力ある事業の提供と、文化芸術活動を推進すると共にイベントの積極的なPRを行い、集客の増加と利用率の向上を図る。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	<p>■主要施策16 文化芸術活動基盤の充実と活動の推進</p> <p>○施設を最大限に活用し、市民のニーズに合わせた活動を推進します。</p>	<p>(2) 古田紹欽記念館活用推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化や地域文化（偉人の顕彰等含む）、禅（哲学）に関わる特別展を開催し、市及び館の魅力を情報発信します。 ・市民茶会や講演会・コンサート、ものづくり講座等イベントを開催し、新規来館者の開拓や集客に努めます。 ・茶道ボランティア組織を充実し、ボランティア主体による市民茶会等積極的な活用を図ります。 ・図書館情報システム等の導入により、貴重な蔵書の公開を積極的に進めます。 ・紹欽が愛した墨色の世界をテーマに水墨画の魅力を発信します。 <p>◎当館の活動や先人の業績への理解を深めるため、館内見学などを市内小中学校に向けて積極的に呼びかけ、地域の子どもたちが当館を周知しやすくします。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・広報を通じて市民への情報発信を図った。 ・市民茶会、好日会イベントものづくり講座、雑学講座等を実施 ・来館総数 …5,324人 対前年比 △252人 (内イベント参加数 462人 対前年比 △258人) ・茶道ボランティア会員主体によるミニ茶会を毎月開催した。 ・10月水墨画の特別講演 9月伊自良北小学校で水墨画教室 ・【新規】 開館15周年に紹欽氏と交友のあった熊倉功夫氏を迎え、特別講演会を開催した。参加者145人 	<ul style="list-style-type: none"> ○常設・特別展示や抹茶体験を通じて、来館者が文化に触れる機会を増やすことができた。 ●イベント、展示時期に限らず普段から気軽に来館してもらえよう貸館や記念館自体の広報を積極的に行う。 ●茶道ボランティア組織の、主体性ある市民団体として活動できるよう機会を増やす。 ○3回目の水墨画授業や講座では、描く題材や講演の内容を前回と変え、改めて興味を示す方が多かった。 ○15周年の特別講演会では、茶会、講演会を開催 多方面から参加者があり多くの方に周知してもらったことができた。 	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	<p>■主要施策17 市民の読書活動の推進</p> <p>○子どもから大人まで、読書に親しむ環境を整備します。</p>	<p>(1) 図書館運営の拡充事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊図書の購入、寄贈、他館との相互貸借により、図書貸出しサービスの充実を図ります。 ・子どもの読書活動推進計画で計画されているように、小・中学校と連携を密にし、図書館・学校・地域が一体となって、子どもの読書向上につながる活動の推進を図ります。 ・利用者が長時間滞在できるよう、快適で居心地のいい環境づくりを進めます。 <p>・美術館・歴史民俗資料館を併設する複合施設の利点を活かし、様々なイベント等を開催し、学習の場、憩いの場として相互利用を促進します。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出人数 20,647人 (前年度 20,332人) 貸出冊数 113,366点 (前年度 111,845冊) ・新刊図書の購入、寄贈、相互貸借等の貸出サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> 新刊購入 3,312点 (前年度 1,426点) 寄贈 他 1,357点 (前年度 1,200点) 相互貸借 <ul style="list-style-type: none"> 借受 380冊 貸出 174冊 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料館企画展開催「見て学ぼう ふれて感じよう 外国の暮らし」 7月21日～7月29日 来場者数 140人 「ちょっと昔のどうぐたち」 1月16日～2月28日 来場者数 約250人 	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度から減少し続けていた利用数が利用者数、貸出数共に前年比へ増加した。 ○新刊の定期的な購入及びリクエスト資料の購入ができた。 ○他館との相互貸借を積極的に行い、利用者ニーズに応じたサービスを提供することができた。 ○分館(高富・美山)・本館(伊自良)の蔵書等が相互貸借でき、利用者の利便性に継続して対応できた。 ●前年より利用数は増加したが、微増である ●施設間の連携や市民と施設との関わりなど、従来のスタイルでは十分とは言えず新たな利用者の獲得が難しい。 <p>○授業、作品展等で訪れることにより、施設に関心を持ち、家族と一緒に足を運ぶ子どもが増えた。</p>	B

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	<p>■主要施策17 市民の読書活動の推進</p> <p>○子どもから大人まで、読書に親しむ環境を整備します。</p>	<p>(2) 読み聞かせ教室の開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納涼読み聞かせ等の創意工夫を凝らした読み聞かせの取組を行います。 ・読み聞かせイベント開催等の広報活動を充実します。 <p>・ものづくりや遊びを取り入れた親子で楽しめる読み聞かせ講座を実施します。</p> <p>・家庭での読み聞かせを推進するため、絵本を充実するとともに展示等を通して貸出利用を促進します。</p>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアの協力のもと絵本等の読み聞かせを実施 <p>本館 実施 46回 参加者 387人 (前年度 実施 50回 参加 368人)</p> <p>げんきはうす 他 実施 26回 参加者 1,234人 (前年度 実施 25回 参加 115人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料展示室をおばけ屋敷に見立てて納涼読み聞かせ会を開催した。 <p>参加者 32人 (前年度 参加 14人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の親子対象に、絵本の楽しさを知ってもらうため、読み聞かせ、リズム遊び、制作を行う教室を実施した。 <p>実施 4回 参加者 150人 (前年度 参加 166人)</p>	<p>○毎週土曜日のおはなしひろばの他、夏休み期間中には会場の雰囲気づくりにも工夫を凝らした「こわ〜いおはなし会」を開催。親子で楽しむ参加者が多かった。</p> <p>○季節を感じさせる飾り付けのほか、おすすめの本、世間で話題になっている物事をテーマにピックアップした本のコーナーを設置し、常に目新しさのある図書館づくりを行った。</p> <p>●読み聞かせの参加者が減少しており、特に過去には目立った小学生の参加がほぼない状態である。</p> <p>学校や家庭での読書の機会もあまりない状況の中、敢えて図書館で本を読むこと、借りてもらうことを推進するには、引き続き付加価値を高めるような事業展開が必要である。</p>	B

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	<p>■主要施策18 文化財や伝統芸能等の継承推進</p> <p>○市民のかけがえのない財産を学び、次世代に継承します。</p>	<p>(1) 文化財保存事業</p> <p>・地域の伝統芸能や伝統行事の継承と振興を図るために、文化財保存団体が行う後継者育成や公開の充実に向けた取組を支援します。</p> <p>◎前年度に刊行・作成した山県市無形民俗文化財調査報告書や記録映像DVDなどの文化財資料を活用した教育普及活動の充実を図ります。</p> <p>・文化財の調査・研究の推進や、市民への文化財情報の積極的な提供に努めます。</p> <p>・文化財を活用した教育普及活動の充実を図ります。</p>	生涯学習課	<p>・市重要無形民俗文化財舞台公演会を実施 来場者 150人 (前年度 210人)</p> <p>・市無形民俗文化財保存団体等へ補助金を交付。</p> <p>・調査報告書を市内小中学校、中央・地区公民館等へ設置。</p> <p>・広報やまがた「祭りと民俗芸能」欄にて民俗行事を紹介。</p> <p>【新規】</p> <p>・「土岐鷹から麒麟へ」10,000部刊行</p> <p>・「大桑城歴史登山マップ」10,000部刊行</p> <p>・市歴史民俗資料館にて企画展を実施(主要施策17(1)に掲載)</p> <p>・美山中学校1年生50人に、課外授業にて大門古墳の現地説明を実施</p>	<p>○文化財保護・保存団体の保護継承の一助となった。</p> <p>●舞台公演会への参加者が減少傾向にあるので、場所や内容等公演のあり方を抜本的に見直す必要がある。</p> <p>●調査報告書のさらなる普及啓発方法について検討をする必要がある。</p> <p>○市内外へ市の歴史・伝承をPRできた。</p> <p>●NHK大河ドラマ「麒麟がくる」放送にむけ、来訪者受入れ体制の充実や市歴史教育など進める必要がある。</p> <p>○学校教職員の協力を得て、小学生を中心に外国や日本の昔の暮らしに触れて感じてもらった。</p> <p>●歴史民俗資料館の展示内容の模様替えの検討し、充実を図る必要がある。</p>	B

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
「ゆとり」と「うるおい」を実感できる文化芸術活動	■主要施策19 国際理解教育の推進 ○多文化共生社会を目指し、国際感覚を磨きます。	(1) 青少年の海外派遣事業 ・アメリカ・フローレンス市との友好都市交流を見直し、青少年育成に主眼を置いた新しい派遣のあり方を模索する。	生涯学習課	・フローレンス市への海外派遣事業は平成28年度より中止	●フローレンス市との交流及び海外派遣事業のあり方等を検討する必要がある。	—
		(2) 国際交流員受入事業 ・フローレンス市との友好都市提携に基づく交流見直しに伴い、同市からの国際交流員招聘に対し廃止も含めた見直しを検討する。	生涯学習課	・国際交流員受入事業については平成28年度より中止	●国際交流員受入事業そのものを見直し、検討する必要がある。	—

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	<p>■主要施策20 学校における人権教育の推進</p> <p>○全教育活動を通し、人権尊重の精神がみなぎる学校をつくりまします。</p>	<p>(1) 学校人権教育推進事業</p> <p>・全教育活動で、道徳・人権問題を含めた『心にひびく教育』を推進します。</p> <p>・同和問題・人権問題に関する研修や広報活動を充実します。</p> <p>・「ひびきあいの日」事業を実施し、学校・保護者・地域の方々とともに地域ぐるみの人権教育に努めます。</p>	学校教育課	<p>・人権教育研修会を年間3回実施(H29同様)</p> <p>・各学校の人権教育の取組とよいこと見つけの成果をまとめた冊子を作製(経年比較±0)</p> <p>・講演会 演題「夢と絆」 講師 蓮池薫氏 「教職員参加者 200人」 (経年比較±0)</p> <p>・全学校が「ひびきあい活動」を実施(経年比較±0)</p>	<p>○自己有用感の推進を重点として取り組み、各校の取り組みを交流するとともに、各校の取り組みに生かすことができた。</p> <p>○講演会を通して、北朝鮮、夢、絆、人権、人生等の問題に深くついて考え、人権感覚を磨くことができた。</p> <p>○「ひびきあい活動」で授業公開を行ったり、各学校行事等の活動を地域に向かって発信したりすることで、地域と共に児童生徒の健全育成に努めることができた。</p> <p>●ひびきあいの活動を活用し、さらに地域住民と一体になった活動の一層の充実を図る必要がある。</p>	A

重点施策	重点目標	平成30年度の目標	担当課	平成30年度の実績・成果と課題		評価
				実績	成果(○)と課題(●)	
人間尊重の精神にあふれた人づくりの推進	<p>■主要施策21 あらゆる場、あらゆる機会での人権教育の推進</p> <p>○学習機会を充実させ、人権学習を推進します。</p>	<p>(1) 社会人権教育推進事業</p> <p>・山県市社会人権教育推進協議会を開催し、今日的課題に対応した人権教育の充実に努めます。</p> <p>・公民館等の各種学級や講座、各種団体と連携した講演会、家庭教育学級での人権学習会、人権教育資料の作成等の学習機会を拡大します。</p> <p>・隣保館で講座を実施し、地域住民と周辺地域住民の交流促進を図り、人権同和教育を進めていきます。</p>	生涯学習課	<p>・人権教育講演会・学校人権教育研究会の開催 8月22日18:00～ 講師 蓮池 薫氏 演題 夢と絆 参加者 600人</p> <p>・標語入り啓発物品を作成 (前年度映画会参観190人)</p> <p>・PTA家庭教育学級講座の中で人権教育を実施</p> <p>・美里会館で、地域の小学生を対象にした習字教室を開催 参加者 42人 年開催数 36回 (前年度参加者・回数ともに同数)</p>	<p>○差別や偏見のない地域社会づくりの大切さについて、理解を深める機会となった。</p> <p>●物品の配布以外の有効な啓発方法を工夫する必要がある。</p> <p>●様々なライフスタイル・ライフステージに応じた啓発方法を検討する必要がある。</p> <p>○地域住民と子どもたちの積極的な交流を図ることができた。</p>	B

第3章 点検評価委員会の意見（平成30年度の評価）

（1）点検評価委員からの意見（要約）

主要施策1(2)	個別指導及び問題解決学習等授業改善事業
・ これからの新しい時代を生きるための基礎となる学力をどの児童生徒にもはぐくむため、ICTを有効に活用した授業改善等、個の学習状況に応じたきめ細かな指導が充実できるとよいと考える。	
主要施策1(3)	学校管理訪問事業
・ ICTシステムや機器の導入・整備により、教材や資料の共有化、校務の標準化等、業務の効率化を図り、教職員の勤務の適正化がさらに推進できるとよいと考える。	
主要施策2(4)	学校コラボレーター事業
・ 児童生徒の様々な教育活動への支援が拡大・充実するよう、地域の企業や山州市の枠を超えた関係機関との連携もできるとよいと考える。	
主要施策6(1)	方針に基づいた統合推進事業
・ 児童生徒の多様な学びに対応できる環境づくりの在り方も検討していく必要があると考える。	
主要施策18(1)	文化保存事業
・ 舞台公演会への参加者が少ないので、保存団体の意欲につながるような開催内容の工夫が必要と考える。	

○山県市教育委員会点検評価実施要綱

平成 21 年 2 月 27 日

教育委員会告示第 7 号

(目的)

第 1 条 この要綱は、山県市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことで、山県市教育行政の推進体制を一層充実させ、教育水準の向上を図り、もって市民の期待に応えるために必要な事項を定めることを目的とする。

(点検評価の実施及び体制)

第 2 条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組みについて、点検評価を行う。

2 教育委員会は、前項の点検評価を適正なものとするため、外部の学識経験者によって構成する山県市教育委員会評価委員会(以下「評価委員会」という。)の意見を聴かなければならない。

(評価事項)

第 3 条 教育委員会は、前年度の取組みについて、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。

(1) 教育委員会の活動状況 教育委員会会議の実施状況 調査活動の状況等

(2) 事務事業の執行状況 山県市教育振興基本計画に掲げる主要施策の施行状況及びその成果

(3) 前年度の点検評価結果への対応状況 前年度の点検評価結果において次項による達成度の評価が C 又は D とされた事務事業に対する対応の状況

2 前項の点検評価においては、次の 4 区分により達成度の評価を行う。

A 順調に達成しているもの

B おおむね順調に達成しているもの

C 達成見込みであるが課題があるもの

D 順調でないもの

(点検評価の手順)

第4条 点検評価を実施するに当たっては、事務局各課がその所管する事務事業等について第一次評価を行う。

2 教育委員会は、第一次評価の結果を基に、第2条第2項に規定する評価委員会の意見を聴いたうえで、教育委員会会議において最終評価を行う。

3 教育委員会は、前項の評価結果を報告書にまとめ、議会に提出する。

4 教育委員会は、前項の報告書を教育委員会のホームページに掲載するほか、広報等を利用し市民に公表する。

(庶務)

第5条 点検評価の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、この要綱を実施するために必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

○山県市教育委員会点検評価委員会設置要綱

平成 21 年 2 月 27 日

教育委員会告示第 8 号

改正 平成 28 年 6 月 28 日

教育委員会告示第 7 号

(設置)

第 1 条 山県市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うに当たり、透明性及び客観性を確保するため、山県市教育委員会点検評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 評価委員会は、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の視点から評価を行い、教育委員会に評価結果を報告する。

2 山県市教育委員会点検評価実施要綱第 3 条第 1 項各号に定める点検評価は、それぞれ様式第 1 号～第 3 号により行う。

(組織)

第 3 条 評価委員会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げるもののうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育学その他教育行政に関する専門知識を有する者
- (2) 学校関係者
- (3) 保護者
- (4) 民間における企業体、団体等の関係者
- (5) その他教育長が適当と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第5条 評価委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指定した委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 評価委員会は、委員長が招集し、その会議の議長を務める。

2 評価委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見を聴取し、又は必要な資料等の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が評価委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年6月28日教委告示第7号)

この要綱は、公布の日から施行する。

山県市教育委員会点検評価委員

(敬称略)

委員長	平澤紀子	岐阜大学大学院教育学研究科教授
副委員長	田上隆	市自治会連合会会長
委員	加藤裕章	市議会厚生文教委員会委員長
委員	伊藤崇	県立山県高等学校学校長
委員	河野隆	はなぞの北幼稚園園長
委員	山田光昭	市社会教育委員代表
委員	早矢仕輝	市体育協会会長
委員	河村一彦	市小中学校長会会長 (美山小学校)
委員	岡川毅志	市PTA連合会代表 (伊自良南小学校)
委員	濱田紀子	市保育園長代表 (富岡保育園)